

1. お気付きになられたようですわね？

もし……もし？

ああ、よかった。

お気付きになられたようですわね？

くす……その、驚いた表情も可愛いですわあ。

状況を飲み込みに、あわてる姿もとっても素敵……

あ、急に動こうとしたら、危ないですわよ。

あなた、お医者様の話では「過労」同然だったそうですもの。
今はまだ、お休みになった方がよろしいのではなくて？

くす……色々と混乱しているようですわね。

でも、ここが何処かなんて質問は野暮ですわよ？

私は――式珠司。この別荘の主人であり……

あなたのことをずっと眺めていた、それだけの女です。

覚えていらっしやらないと思いますけど

昨日の夜、あなたは会社からの帰りに

公園のベンチで眠ってしまいましたのよ？

そんなあなたの姿を見かねて、私が別荘に連れて帰って半日。

あなたはベッドの上で眠りつづけていたという訳ですわ。

ああ、もうちょっと寝ていらして。

あなたはまだ本調子じゃありませんのに。

それに、此処から出ようたって

この部屋の出入り口を知っているのは私だけ

窓も普通の方法じゃ開きませんし

スマホも圏外になるように、用意していただきましたのよ。

でも、もういいじゃありませんか。

あなたは、もうお仕事には行かなくてよろしいんですよ
だって、今日から——わたくしのペットになるんですもの……

くす、御隣り——失礼しますわね？

くつつかないと嫌ですわ……

もお、そんなに緊張しないでくださいませし？

私、別にあなたに悪いことをしようなんて

そんな考えは毛頭御座いませんわよ——

だって私、あなたのことを本当にお慕いしておりますもの。

あなたと初めて会ったのは

通学のために乗る朝の電車の中でした。

日々に諦観するような憂いの表情

それでいて私の心を憐る仕草を見つめる度に——


あなたを私の物にしたい。

そんな邪な願いも際限なく膨れ上がっていきました。

そんな中——あなたは、昨日。

あんなに無防備な姿を私に見せて……

私、もう我慢の限界になってしまつて、おかげでこうやつて——

ふーっ……

あなたに最も近い場所に、私が来てしまいました。

ねえ、だから——

私の気持ち受け入れてくださいませんか??

あなたを、二度と苦勞させないためにも

私のペットになつてくださいませ……

そう、ペットですわ。

私、今の自分の心が恋心かは、分かりません。

ですが、あなたを見ていて、湧き上がる感情は——

せめて一緒に暮らして、甘やかして、愛してあげたい。

言葉が通じずとも、お互いを思い合えるペットみたいに……

だから安心してください。

日々のお世話は私がしてあげますわ。

それに、飼育放棄なんて酷いこと致しません。

私——あなたの理想のご主人様になりたいんですの。

病めるときも健やかなるときも、共に過ごす愛らしいペットのご主人様に。

でも——あなたは、まだ

私のペットになる踏ん切りは、ついていないようですわね。


私と言う女性を前にして、うろたえているだけ。

でも大丈夫、何もはじめから完璧を目指せなんていう

悪い見本のような人間は此処にはいませんわ。

これから——いくらでも、お互いを理解して……

仲良く、なれますものね。

くす、真っ赤になっちゃって可愛い……

私の愛、ちゃんと伝わっているようで、うれしい

ああ、本当に、あなたは可愛いですわね

ねえ、いいでしょう？

ペットになることは幸せなことですわ。

私の愛を一身に受け取ることが如何に光栄なことか。

すぐに——理解していただけると、自負しておりますのよ。

もちろん、今、混乱していることも承知の上ですわ。

でも、絶対わかってくれるはず

だからもう少しこうやって、一緒に寝転んでいて、宜しくて？

今日は「土曜日」だから——学校ありませんの。

だから——

こうやって――

あなたと一緒に過ごしても……誰も怒りませんもの。

あら？ ふふ……いいですよ。

私の体、まじまじ見てくれても構いませんわ。


だって、あなたは私のペット、新しい家族になるんですもの。
恥ずかしがることなんて、ありませんわよ。

ねえ……黒いレースの下着は、お嫌いでした？

もっと子供っぽい方が好みでして……？

でも、もう限界ですわ……

締め付けのきつい恰好は――本当に苦手。

私のスタイル、クラスメートの中でも、特別に整っている方ですよ。このあなたの気持ち
ちが詰まってるバストだって――クラスで一番大きい、皆が羨ましがっているもの……


ふふ、そんなに慌てて――気に入ってくださいました？


それとも……あなたのお腹に当たっている、私の肉棒。


ペニス、おちんぼ……これが気になってしまうのかしら？

大きいでしょう？

ふたなりのペニスは、あなたのモノより確実に――

雄々しく、卑猥で、性欲に正直ですからね……


ふふ、怯えているあなたも可愛い……


別に、動けない、あなたを一方的に、これで犯すなんて……
そんな酷いこと、私にはできませんわ。

勿論、あなたが望むなら

存分に、私の手で愛して差し上げてもいいですけど――

今は、ただ――

ちゅっ……

こうやって、私、あなたと仲良くなりたいの――
だから、そんなに緊張しないで？

私の事、受け入れてくださらない？

ね、今だけおためしで、私のペットになってみませんか？

んふふ……あなた、私にこうやって寄り添われて

私の臭いを嗅ぎながら、軽くお耳にキスされるだけで

勃起、してしまっているでしょう？

女子高生に欲情してしまう、疲れマラが可哀想。

あなたのおちんぼ、ズボンの中でギンギンになっていきますわよ
ね、欲望に正直になりましょう？
♥

我慢していても、なーにもいいことはありませんのよ？

ああ——それとも、お疲れで動けない自分の代わりに

ご主人様である私にお世話をしてほしいと。

そう考えて、いらっしゃるのかしら——？

ねえ、あなたは女の子に奉仕してもらって

おちんぼから精液をコキ出してほしいと、考えおりますの？

自分の事が大好きなメスに、自らの全てを肯定されながら

愛されたいと、傲慢に『おねだり』をする。

勿論、いいですわ——

何事も「体験」しなければ、その価値は理解できませんもの。

だから……こうやって、力を抜いて、私の御奉仕を受け入れなさい。

怖がらなくても、あなたのこと、責めて差し上げますわ。

こうやって……

お耳を舐めながら——タイツで蒸れた太腿で

おちんぼ、なでなでして差し上げますわね。

どうですか……

まるで天国にいるみたいでしょう？

ふふ……あなたの表情、トロットロに蕩けて——

それに、おちんぼも、おつゆが垂れて……♥

ガマン汁で私のタイツがどろっどろ……

どうやら、私の御奉仕は気に入ってもらえたようですわね。

んふふ……

あなたは本当にペットの才能に満ち溢れていますわね。

あなたは私の奉仕を受け入れている——もう目が離せない。

私の、まだお酒もたしなめない……

若いメスの体に夢中になっている。


いいんですよ——今日は私の愛撫を受けて


甘やかされながらどびゅっ……びゅっ、びゅっ、びゅーっ

とくとく、とぼっ、とぶんっと……


可愛く射精して、脳みそ蕩かしてくださいまし……

ほおら……あなたの勃起おちんぽに

私の太腿とペニスが押し付けられて……

私に抱きしめられたまま……

耳を舐められながら……

ペットらしく「おもらし」しちゃいましょうね……

んふふ、あなたの睾丸が——せり上がってきましたわ。

射精、したいんじゃないかしら？


仕事が忙しくて溜まった真っ黄色の濃厚ザーメン


私の体にどろお……って、沢山、掛けてくださらないかしら。

ね……

出して、射精して——ほら、びゅっ、びゅっ……

びゅーっ、びゆるびゆる……びゅーっ

とくっ……とくっ……びゅっ

ちゅっ……

おもらし、上手くできて本当に偉いですわね。

年下の女に、一方的に御奉仕されて

変態ザーメンコキ漏らすの……

楽しんでいただけました？

私は――本当に、奉仕の甲斐が合って楽しかったですわ……。♡
はあい……。偉い偉い……。♡

私にペットとして甘えられて本当に偉いですわ……。

ふふ、今日はもう休んでくださいまし。

あなたがまた元気になったら

次は私のペットとしてまた遊びましょう♡

約束ですわよ……。♡

2. 私とペットの幸せについて学んでいきましょうか

そうやって、落ち着きなくしている姿も可愛いですわね。
休日なのに何もすることが無いのは――退屈かしら？

確かにここには一人遊びするための玩具は多くとも
ネットやゲームは乏しいですものね。

私がこうやって遊びに来ないと

寂さが勝っててしまうのも、仕方ありませんわ。

私も気を付けないと、いけませんわね。

くす……何時から傍にいた、という質問は無いですわよ。

ここは私の部屋ですもの。

ここに来るのも、出ていくのも私の自由。

でも、寂しそうな表情……

見ず知らずの場所で一人放置されるのは

とても、心細いモノなのですわね。

ほら……あなたのこと「ぎゅーっ」てしてあげます。

今は私の胸の温もりで、どうか許してくださいまし

ごめんなさい、飼い主なのにペットを置いていくなんて

これからは、出来る限り一緒に居れるように努力致しますわ。

それが、ご主人様としての責務、ですものね。

ふふ、いい顔ですわね。

ご主人に甘えるペットの顔。

不思議と……私に抵抗しようと思えないでしょう？

あなたが此処で食べている日々の食事には

私に抵抗しようと考えられなくなったり――


人として性欲や本能が動物に近づいてしまうような「混ぜ物」がされているのですわ。

でも、こうやって、抱きしめられているのに


何処か遠慮がち——まだまだ、完全なペットには程遠いですわね。
でも、仕方ありませんわね。

この前、甘やかしてあげて以来、ペットの幸せというものを
あなたはまだ、完全に理解してはいませんものね。

くす、これから一生、責任を負わなくてもいい

そんなことだけが、ペットの幸せではありませんわ……

折角ですし……今から

私とペットの幸せについて学んでいきましようか


動物として、ご主人様に愛される幸せを感じてみましよう？

それじゃあ、まずは着ているお洋服を脱いでくださいまし。

ペットに寝転んで、私が来るのを待つ。

できるでしょう？

くす——よく、できましたわね。

えらい、えらいですわ……

ペットの幸せはご主人様の言うことを聞けば褒めてもらえること。

私にこうやって、褒められるの。うれしいでしょう？

そしたら、もっと——もーっと


私の言うことを聞きたくなりますわよね


これからは——沢山私の言うことを聞いて

同じくらい、沢山褒められましようね

くす……それじゃあ、これから——

あなたが今までの自分から、もーっと素直なペットになれるように。

ご主人様との幸せな時間で変わっていきましようね……

くす……かわいい表情……

今日はね——これからあなたに、赤ちゃんみたいに沢山甘えて

気持ちよさに素直になって、ペットの幸せを体感して頂こうかしら。

いいでしょう？

それとも——気持ちいいのは嫌い？ 怖い？ 恥ずかしい？

大丈夫、これからされることで

幾等体を感じても、どれだけ恥かしく喘いでも。

私以外にも、誰にもバレることはありませんから——安心して
気持ちよかったら、沢山喘いでくださいまし……♡

さ、私のペットになることが

どれくらい幸せな事なのか、思い出しましょうね……♡

ほーら、女子高生のおっぱいですよ……♡

あなた以外に吸わせたことのない、桃色の乳首♡

あかちゃんに戻ったと思って沢山吸って、甘えて——

我儘な金玉で、沢山種付け用のミルクをぐつぐつさせましょうね。

くす、私の生おっぱい……気に入ってもらえたようですわね？

まだ、ミルクも出ないけど大きなおっぱい。

おくちで吸い付いて——

ちゅぽちゅぽちゅぽって舐めて、甘えたいんですか……♡

いいですよ……♡

ほら、あなたは寝ころんだまま、膝枕して抱きしめてあげますから

ご主人様のおっぱい、ちゅーってして……♡

んっ♡ ちっちゃかった時の頃、思い出してくださいね……♡

いいんですのよ♡

私は、あなたのご主人様ですもの♡

ペットのことを、何時だって可愛い家族と思って♡

本物のママみたいに——愛して、お世話してあげますわ。

ふふ、私の、おっぱい♡ ご主人様の乳首は美味しいですか？


甘い香りに包まれながら、こうやって、抱きしめられて——♡


おっぱいちゅぶちゅぶ吸って……


赤ちゃんに戻れて、幸せですわね……♡


いいですわよ。


このまま、甘やかされながら――

辛いことは全部わすれて、種付けの事だけ考えてください……

ふふ、あなたのおちんぼ


あなたが私のおっぱいに埋もれてちゅーってキスするたびに
ぴくぴくって勃起していきますわ……

このまま、ペットとしておっぱいに甘えれば甘えるほど

あなたの「おちんぼ」、なでなでして褒めてあげますからね

遠慮なく甘えなさい――

私の愛しいペットさん。

んっ そうやって子供に戻って甘える姿

ほんとうに可愛いですわね

おっぱい吸いながら、おちんぼしこしこされて――


びくびくって、我慢汁漏らして感じて――


沢山褒めて貰えて、良かったですわね。

ね、私に愛されるって幸せでしょう――？


この気持ちを感じて痛いでしょう？


私のペットでいられたら、何一つ怖いことなんてありませんわ

辛いことも、苦しいこともっ



なにもかも、私が受けて止めてあげますもの……

これからは、ずっと――ずーっと。


私をご主人様と思つて、ペットとして、遠慮なく私に甘えて――


幸せで頭を真っ白にしながら……ひあっ




幸せな――二人だけの時間を過ごしましょうね……



んふふ…… ばいばい吸うたびに、おちんぼ、どろどろ




本当に偉いですわ…… このまま、びゅっ、びゅっ、びゅーって

とろとろザーメン、おもらしししゃってもいいですけど……


ペットとしてご主人様に愛されながら
もっと、もっと気持ちよくなりたいでしょう……


ほおら…… おっぱいは一度おしまい
代わりに――ほら、この哺乳瓶……ちゅーちゅしましうか


もお、ママのいうこと聞いて……
あなたのこと、もっともっと気持ち良くしてあげたいの。
その気持ちはほんとなの……だから、これを吸って、ね


ふふ、私のおっぱいを我慢出来て、本当に偉いですわ……
おっぱいちゅっちゅも、おちんぼなでなでも我慢出来るなんて
あなたは本当に、優秀なペットですわ……


ふふ……私がこれから何をするのか――わかります
大丈夫、安心して……
私の御奉仕を受け入れなさい

あなたの体、もっと気持ちよくなるように
なでなでってするだけですもの
ほおら、脚を開いて――

今から、あなたのここ。
あなたのお尻――アナルでも、もっと気持ちよくなれるように
調教して差し上げますわ。

ペットとして、より快感を得られるように
ママの指で、あなたの体を作り変えて差し上げますわね。

だいじょうぶ。
あなたも、私が――信頼できるご主人様だつてこと。
体で、理解してくださっているでしょう

初めてのこともかもしれませんけど――
怖くない。だって、きもちいいもの。
触られて、撫でているだけでもちいい……？

だいじょうぶですわ……♡

こういう時のための準備は、ちゃんとしてきましたもの♡

あなたがお尻で気持ちよくなれるように――

初めてでもちゃんと気持ちよくなるためのローション。

用意してきましたもの♡

だいじょうぶ、怖くないですわ……♡

んふふ……そのまま、哺乳瓶をちゅーって吸いながら♡

お尻の穴、力――抜いてくださいまし……♡

右手の中指を一本だけ、あなたのお尻に挿入しますわよ。

ほーら……つぶつぶ……♡

つぶ……♡ つぶ……♡

あなたのお尻、私の指を簡単に飲み込んでしまいましたわね。

そのまま、ぐりぐりとあなたのお尻の穴を広げてあげたら

一体どれだけ気持ちよくなれるのかしら♡

こうやって……こうやって……ゆっくりと、お尻の穴を広げて

粘膜を触ってあげるだけで

おちんぼもとっても気持ちいいですわよね。

私の指が触ったところ

どろどろのローションがとっても熱くなって

沢山気持ちよく――してくれそうですからね♡

くす……おちんぼ触ってないのにビクビクしだして……♡

本当に、えっちな体ですわね――

ここから前立腺を撫ではじめたら

あなたは一体どうなってしまうのかしら？

大丈夫、怖くない……♡

もっともっと、お尻の穴でご主人様に甘えてみましょうか……♡

ほおら、えらい――えらい♡

ぐちゅぐちゅされながら

とんとんってお尻の気持ちいい所を撫でられて
おちんぽから、どんどんと……

力が抜けてふんわりとした気持ちよさが広がっていくのでしょうか？

私の御奉仕で感じてくれて——本当にうれしい
それとも、こうなることを期待していたのかしら？

初めて私のチンポを見た時から、あなたの体で私を啜えこみたいと
そう、思ってくれていたのかしら……？

もお……そんな目を向けないで。

あなたが本物の変態なことは知っていますもの
じゃなかったから、どうしてあなたのアナルは

私の指に甘く蕩けて絡まるケツマンコになっているのかしら？

くす……いいですわよ。

その食欲に感じようとする、あなたの姿勢。

どうぞ刺激が物足りなかったら、好きに扱ってくださいっても……
ミルクを飲むのは片手でも出来るでしょう？

私の指にお尻の穴できゅっきゅって甘えながら——

しこ、しこ、しこ、しこっておちんぽしごいて

もつともつと、気持ちよくなりましょうね……

んふふ……あなたは本当に偉いですわ

お尻の穴で私を求めながら——

快感を食欲に感じようとするなんて

こんなの、普通のなでじゃもう足りませんわね……

少し体勢は苦しいですが……

さつき沢山、私のおっぱいを舐めてくださった御礼に……

あなたの乳首、男の子には本来いない気持ちよくなるための場所を

舌でちゅっちゅっ、ちゅぷちゅぷって舐めて……

指でこしょこしょ、かりかり——って虐めて……

今日一番の気持ちいいお漏らし、味あわせてあげますわね

腰を抜かさないうでくださいまし……行きますわよ……♡

ちゅっ……♡ ちゅっ……♡
ちゅっ……ちゅるっ……♡ んっ♡ ちゅっ♡ んちゅっ……♡
んちゅ♡ んっ……♡ れるれるろ……ちゅっ……♡ ふーっ♡
んふふふ……♡ 気持ちいい？
そのまま、もっともーっと感じてくださいまし？

れりゅっ……♡ ちゅっ♡ ちゅっちゅーっ……♡
じゅるっ♡ じゅっ♡ じゅるるるるっ♡ ちゅっ♡
ちゅぶぶ……♡ ちゅっ♡ ちゅるるるっ♡
んちゅっ……♡ ちゅるるるっ♡ ちゅーっ♡
れるれるれるる……♡ ふっっ♡

ほらあ……♡ ちゅっ♡
そのまま快感に身を任せて——全身で、アクメしましょうね♡
ガマンしないで……♡
はあい……♡ びゅっ、びゅっ……びゅびゅーっ♡

びゅーっ♡ びゅるびゅる……♡ びゅーっ♡
ぶびゅっ……♡ びゅっ……とくとく……とくとく……とくんっ♡

ふふ……ご主人様から与えられた。
初めての「おしりアクメ」は如何ですか？

男として生きていたら絶対味わえない。
雄乳首とケツマンコで苛め抜かれて——感じる。
ざーめんとろとろしながらの、マゾアクメ♡
私のペットとして生きるなら、これからもずーっと……♡
味わうことができますのよ♡

ね、うれしいでしょう？
明日も、明後日も——沢山。
あなたのこと、ペットとして愛して差し上げますから……♡

ふふ、可愛い……

3. あなたの心も体も、「調教」して差上げますわ

くす……本当にいい天気。

夜風が気持ちいいですわね。

はあい……もう、目を開けても構いませんわよ。

私のペットになる御褒美に外を散歩させてほしい。

その望み通り、私と屋敷の庭園を散歩させてあげますわよ。

くす、ペットの願いを二つ返事で叶えるなんて

私って、なんて出来た飼い主なのでしょう。

勿論、あなたはペットですからね。

外に出る時も——裸で、首輪はつけて頂きますし——

お尻には、可愛い尻尾を付けての外出ですけれど。

どうですか？

特注の品、ですから着け心地は最高でしょう。

首輪は苦しくはありませんこと？

アナルをパールで塞がれるのは、いい感覚ですわよね？

飼い主からの贈り物、気に入って頂けたなら何よりですわ。

そのままペットらしくお尻って

あなたの尻尾をゆさゆさ揺らして……

お尻の穴で、もっともっと気持ちよくなってください。

それが、私からの命令ですわ。


くす、大丈夫。

今日はこれから、お外で遊びながら——

ゆっくりと、ペットとしての心構えを叩き込んであげます。


あなたの心も体も、「調教」して差上げますわ。

ふふ、飼い主の声でぞくぞくって背筋を振るわせて
本当にかわいいペットですわね。

私、ペットを飼うのは初めてだったから
気に入って頂けるか、心配でしたけれど……

こうやって、お世話をする間にあなたのこと――
少しずつ分かってきましたのよ？

例えば……あなたのことを、一人の大人として扱うよりは

変態でマゾヒストなペットとして接した方が
良く反応して頂けること、だとか

ふふ、気を悪くしたらごめんなさい。

でも、今さら否定する必要はありませんわよ。

散歩の間くらい、もっと全てを解放しましょう？

一緒に裸になって、二人だけの時間を楽しませんか？

さ、その場に寝転びなさい？

私に、あなたの体が良く見える様に……ね。

くす、飼い主の言うことを直ぐに聞けて、本当に偉いですわね。
えらいえらい……あなたは本当によくできたペットですわ。

そうやって、大の字になって寝転んで、夜風に体を晒すと――

自分が人だったのかすら、忘れてしまいそうでしょう？

体の奥から湧き上がるゾクゾクが、寒いからなのか――

変態ブレイに興奮しているのか、もうわかりませんわね、

まるで、自分が動物になってしまったような感覚は――

心細いかしら？ それとも、私がいるから「平気」なのかしら？

そのまま犬みたいに、手足を上げて服従のポーズでいましょうね。
あなたは、お尻の玩具に集中しなさい。

お尻の異物感に身をゆだねる準備をしましょうね。

その間、私が——飼い主らしく——

あなたのことを撫でていてあげますわ。

さ、深く息を吸って——吐いて……

アナルの感覚を意識しながら——吸って——吐く……

アナルの違和感はきもちいい……気持ちいいのが、あたりまえ。

あなたのアナルはもう、完全にケツマンコ。

ペットとしてご主人様の愛を受け入れるための玩具なの。

ね、いいこ——ほんとうにいいこですわね。

いいこのペットには御褒美に……

上に乗っかって、あなたをもっと気持ちよくしてあげますわね。


飼い主のおまんこの匂い、間近で嗅ぎながら……

んふふ、お顔を金玉に潰されるのは屈辱かしら？

それとも、ご主人様にされるから——嬉しいのかしら？




勿論、私——意地悪でこんなことしてあげるわけじゃなくってよ？



あなたのおちんぽと、尻尾




優しく、舌と手でなでなでして、しごいて差し上げますわ……

チンポとケツ穴の両方で感じなさい……

ほおら……深呼吸して、気持ちいいのに集中——





ちゅっ…… ちゅっ…… あ——っ

じゅるるっ れろっ、れろれろ……



は——っ れる、れええろ、れりゅっ じゅるるっ


じゅぽっ じゅぶっ んぶっ じゅるるっ

じゅばっ、ちゅぶっ、んじゅっ んじゅっ

んう……ちゅぶっ ぶっ ぐぶっ ぶっ

ぢゅぶ ちゅるっ ぶちゅじゅるる

ぢゅっ じゅっ、ぶぢゅるる

んっ じゅぶっ じゅるる じゅるるるっ じゅぽっ

じゅぶぶぶ ぶぶっ んっ じゅぶっ

ぶふっ♡　ぐぶっ♡　ぐぶっ♡　んっ♡　じゅるっ♡
んぷふっ……♡

ふう♡　んふふ……♡

ご主人様の肉布団はきもちいいですわね♡
裸になって、生まれたままの姿で……♡

自分がペットだってこと以外、全部忘れて――

マズ快楽に漬されながら、感じなさい♡

自分が変態になることを受け入れなさい♡
ペットになりなさい……♡

いいですわよ。

アナルを乱暴に掘り抜かれて、感じてるんですね？

もう、あなたの御尻の穴、出すよりも入れることの方がお得意になったんじゃないかしら？

そのまま亀頭を舐めてあげますから――

思いつきおちんぽから変態精液、びゅっびゅしまししょう？

女の子に押し倒されて

無理やりエッチな所の臭いを嗅がされながら……

ご主人様のペットとして……♡

尊厳も、恥も脱ぎ捨てて、気持ちよく、気持ちよく……♡

真っ白いおしっこ、びゅっびゅって、しましょ？

はあい……しこしこ始めますわよ……♡

んっ♡　れるっ♡　んぷっ♡　じゅるるるるっ♡

れるれるろれろれろれろれろ……♡

んぷっ♡　んぷっ♡　ちゅぶっ♡

んぶ♡　ちゅるるっ♡　ぶちゅ♡

んじゅるっ♡　ぶぶっ♡　れるっ♡

ほら、びゅーってしましょ？

出して——ほらっ♡ぴゅっぴゅっ——♡

んっ♡ あっ♡ んじゅるっ♡ じゅぶぶぶっ♡ じゅるっ♡
んぶっ♡ んぐ♡ んぶぶっ♡ ちゅぶぶっ♡ れじゅっ♡
じゅるるるるう♡ じゅるっ♡
ちゅぐっ♡ ちゅぐっ♡ ちゅぐっ♡ ふう~~~~♡

ほら、残ったザーメンも、ぴゅっ、ぴゅっ、ぴゅ……♡

はあ~~~~♡ 流石は、私のペットですわね♡

チンポとアナル、両方苛められながらのマゾ射精。
腰が砕けるくらい、気持ちよかったですわね——

ザーメンぴゅっぴゅしながらの、亀頭フェラ♡
喜んでもらえたようで、何よりですわ。

ね、ご主人様におちんぼ気持ちよくしてもらえて
あなたは本当に——幸せ者のペットですわね♡

くす……すっごいマゾ顔。

ご主人様の、マンコと金玉の淫臭を嗅ぎながら
マゾ絶頂されてアへ顔になっちゃうなんて……
生きてきて、最高の瞬間でしょう？

これほど幸せなことが他にあるかしら？

くす……♡ どうか、致しましたか？

そんな物欲しそうに——身をよじって♡

まだ満足できないんですのね♡


私のペットは、本当に最高に欲しがりなド変態さんですわね。
でもお、あなたのふにゃふにゃおちんぼ……

このまま無理に苛めても、可愛そうなだけですわ……♡
それとも、無理やり射精させて欲しいのかしら？


くす、分かっているでしょう——？

ふふ、あなたの体で満足していない場所は、ここ 

ほっそいパール尻尾を入れられて——

快樂をお預けさせられてる可愛そうな雄穴の方…… 

あなたのケツマンコ、私のチンポを受け入れでもしないと

もう満足、できないんじゃないかしら 

どうします？ ご主人様と、ケツ穴でセックスしちゃいます？

ふたなり女のふっという肉棒で。

マゾになりたての処女穴を遊んでもらう覚悟、出来たかしら？

その表情、本当にそりますわね—— 


あなたは、私が見込んだ通りの方でいらっしやいますのね。

あなたはマゾペット—— 

気持ちよくなるためなら、私に何でも委ねられるド変態さん。

いいですわよ。


折角の野外露出ですものね。

「ペット」らしく「動物」みたいに気持ちよくなりましょうね 

そのまま、四つん這いになりなさい。

そして、お尻を上げて——尻尾振って、待っていなさい 

くす——ずっと、ずっと夢見ていましたのよ？

毎朝の電車ですれ違っていたときから——こうやって 

お慕いするあなたのことを

私のチンポで生ハメできる日を心待ちにしておりましたのよ。

お尻の玩具。

ふらふら揺らして可愛いですわね。

ご主人様に気持ちよくしてもらえて、よかったですわね。


大丈夫ですわ、マゾペットさん。


恥ずかしさなんて忘れて、動物みたいに啼きなさい。



ここはお外、あなたは動物。あなたはペット。あなたはマゾ。

自分でお尻の玩具をひり出して、私に媚びるように啼いてみなさい。

ほら……あんあん。

あん、あん 

あん、あん 

よくできました  えらい、えらい…… 


お尻の穴で、気持ちよくなれてえらいですわ…… 

御褒美に、あなたのお尻の穴。

私が壊さないように広げてあげますわね。

はい……あん、あん。

あん、あん……  あん、あん…… 

くす…… 


気持ちよかったら、私が言わなくても好きに喘いでいいですからね 


私のことを信じて、私を愛してくれた分だけ。


私もあなたのことを愛して、ペットとして 

あなたのことを、愛してあげますわ 

それじゃあ——もう準備は出来たかしら？

マゾペット、気持ちよくなりなさい 

んっ  あなたのケツマンコは、私好みの欲しがりマゾですわあ

私のおちんぼに絡みついて、しごいた分だけ甘えてくるなんて…… 


ほんと、いやらしくて出来の良いマゾ穴ですわね…… 


こうやって後ろから腰を叩きつけられるとっ


いやでも声が出てしまうでしょう？

我慢する必要なんて、ありませんのよ。

んっ、この場所は、この館には私とあなたしかいないんですもの 

自分を解放して、動物のように啼いたって誰も怒りませんわ 

ほらっ  気持ちよかったら、あんあんって啼きなさい。

もっと、もっと自分がペットだってことを体に刻み込みなさい 

ご主人様に愛して頂けて嬉しいですから
私のおちんぽに熱烈御奉仕しながら――
甘えた声をあげて、媚びなさい♥

マゾペットさんはこれからずっと、ずーっと。
私に啼いて、媚びて、甘やかされる生活が続くんですよ。
嬉しいでしょう……♥ 嬉しいでしょう……♥
嬉しいなら、辛いことも、苦しいことも、何もかも忘れて
あん、あんって啼きなさい♥
そしたら、もっともつと――
えらい、えらいってあなたのことを褒めて差し上げられますわ。

んっ♥ いいですわ♥
マゾペットさんのマゾケツがひくついて
種壺としての自覚がどんどん高まっていきますわ。
そのまま、ザーメン注いであげますから
私が気持ちよく射精できるように
マゾペット、媚び啼きなさい♥

うっ……おっ……ケツ穴がザーメン待ちうけてカリ肉を舐めてるっ
マゾペット穴があ……私の優良ザーメン欲しがってますわあ……
あー、もっと心のそこから媚びなさい……媚びイキなさい♥
本能でチンポに屈して、メスイキなさい♥

んっ♥ 私もイク♥
おっ♥ ザーメン、出ますっ♥
あなたがマゾペットになった記念に、ザーメンでマーキングしますっ♥
私の愛の証、あなたの体に注ぎ込みまわよ……♥

んおっ……♥ お“ーっ♥ おっ♥ イッグ……♥
あっ、あっあ……♥ 射精するう……♥ 搾り取ってくるう……♥
んふふ……♥ あなたのお尻の穴♥
私のザーメンを卑しく飲み込んでますわ。

えらい、えらい……♥
私をその気にさせられて、本当に偉い……♥

今日から毎日犯して差し上げようかしら……♡

二度と、マゾから抜け出せないように
ペットをやめたくないように♡

あなたを、もっともっとド変態にしてさしあげますわね……♡

4. 私のおまんこで、甘やかされる準備は万端かしら？

もお……そんな顔して怯えなくても、いいですね。

この前のお散歩から、毎日ケツ穴で快感感じさせてあげてるのに

飼い主のことをそんな目で見るなんて

私、悲しいですわ。

あなた、喜んでいたでしょう？

ケツ穴でチンポを咥え込む日々は最高だったでしょう？

なのに、まだ満足できないのはあなたが底なしの変態だから？

うう……もしかして私の躰が間違っていたのかしら。

それとも、未だ私に相談できていない悩みがある、とか……？

どうやら、そうみたいですわね。

私、あなたの考えていることは

あなた以上に理解ようと努力していますもの……

あなた、ペットとして生きていくのが、不安なんですよ。

過去から一步を踏み出して、辛い日常から解放されたといっても

いくら価値を見出されて、ペットの幸せを手に入れたとしても

あと一步踏み出す何かが足りないのですから

私、少しでもあなたの背を押して差し上げたいんですよ。

ねえ、あなた……この首輪、あなたがペットだっていう証。

私が見ている前で、つけてみてくださいださらないかしら……

くす、私からのお願いはそれだけです。


あなたが私のお願いに答えてくださるなら

あなたのことをぎゅーって抱きしめて

もっと、もっと私の温もりで包んで差し上げます。


勿論、なでなでもセットですわ……

もしかして、お嫌だったかしら？

あ……ああ 

あなたは、私の言うことが聞けて……本当に偉いですわね。
さ、約束どおり抱きしめて、たっくさん甘えさせてあげますわね。

ふふ、やっと本調子に戻ってきましたわね。

えらい、えらい…… 


あなたは、本当によくできたペットですわ。




私の言うことを聞くことが、幸せなことだと

頭で、完全に理解してくださっていますものね…… 

だから、なにも怖くなんてありませんわ。


私がいつだって、ぺっとのあなたに

気持ちいい幸せを、めいばい差し上げますからね…… 

ちゅっ……  ちゅっ……  んふ…… 

あなたは、本当に欲しがりなペットですわね。


あなたのおちんぼ……勃起してしまっていますわ…… 



ねえーどうしましょう、このままじゃ苦しいでしょうし 

私、飼い主ですものね。

発情した、あなたのことを慰めて差しあげないといけませんわね 

正直に、自分をペットだと認めた。マゾペットのあなたに

エッチな御褒美、差し上げないといけませんわね 

ふふ  普段以上に勃起して可愛いですわ 

あなたのおちんぼ、今日は特別。

普段以上に甘やかして差し上げないといけませんわね。


*以降、SE：ギシ音＋ぎゅーっと抱き締める音、心音とか？



さ、一緒にベットに寝転びましょう？

私とあなたは何時だって、一緒ですものね。

もっと密着して、一緒に蕩けてしまいましょう？

二人はオスとメスだって、本能に刻み込むように。

はあい……もう一度、ぎゅーっ 


おちんぼ勃起させながら、メスの臭いを嗅いで—— 
もっと、もっと幸せに蕩けることを覚えましょうね 

ペットとして御奉仕する幸せだけじゃない。

愛を受け取る幸せをもっと、もーっと感じれば。

あなたはもっと、素直な変態のマゾになる。

私にふさわしい「動物」になれますわ。

さ…… 

肝心の御褒美が必要ですわね。

勿論、忘れてませんわよ。

私が今、御利巧なあなたにしてあげられる

一番の御褒美を差し上げないといけませんわ。

ねえ、マゾペットさん。

私のちんぼ以外で、私が持っているものなら、

どれが、一番喜んでもらえるのかしら。

私のおてで、しこしこしてあげるべきかしら。

ママのように、甘えさせてあげるべきかしら。

お口で、ぐぼぐぼ舐めてあげるべきかしら。

それとも——


おまんこに、生のおちんぼで種付けさせてあげるべきかしら。

くす……あなた、目の色が変わりましたわね。

マゾでも、ペットでも——交尾の喜びは変わりませんものね 

だって、マゾペットさんはオスですものね。

私のメス穴で、おちんぼをとろとろに蕩かして——

にゅぽにゅぽびゅびゅっ——と、どろどろザーメンで種付けエッチ 

私と言う女を押し倒して、組み伏せて
欲望のままに、乱暴に犯し抜いて♥

あわよくば女子高生の卵子を人生ごと狂わせたいのかしら♥

ああ、どうしようかしら♥

そんな交尾を、ペット相手には許してあげるべきかしら。

私、ご主人様としてあなたをしつけないといけないのに♥

ね、わかるでしょう？

私はご主人様、あなたはペットですよ。

エッチだって、あなたをマゾとして弄びながら

泣いても泣いても許されない、一方的に愛される性処理作業
種付けとは名ばかりの、マゾいじめじゃないといけないのに……

未熟な私は、あなたのおちんぼをマンコで甘やかしてあげたい♥
駄目だとわかってても、我慢できませんわ♥

ね——だから、精々頑張りなさい。

マゾペットの分際で、ご主人様に敵うのか……

服を脱いで——私の生マンコにチンポを甘やかされながら
試してみただけのかしら♥

さ、服を脱いで動物におなりなさい。

快樂奴隷のマゾペットさん。

お待ちかねの生交尾の時間ですわよ。

ああ、そうだ。

いいことを思いつきましたわ。

マゾペットさん。

ペットの証として、アナルに尻尾をつけて待ちなさい、
自分が何者なのか、はつきりと自分で理解できるように、ね♥

くす……あなた、かわいいワンちゃんになって、偉いですわね♥
私も——あなたに合わせて、裸になって♥ こうやってっ♥
おまんこ♥ ぐちゅぐちゅって——粘膜を蕩かせて♥

おチンポを受け入れる準備を、整えておきましてよ……♡

でも、指だけじゃ私満足は出来ませんわ。
代わりに——あなた、舐めてくださらない？

自分のおちんぼを扱きながらで構わないので♡
私の甘く蕩けたメス穴を舌と指で耕してえ♡
おまんこで、赤ちゃんを作るための下準備を♡
お願いしても、よろしいかしら……♡

くす——ああん、駄目ですわよ♡
そんなに乱暴に、私を押し倒してえ
独りよがりなクンニを始めるなんて♡
あんっ、そんなにおまんこを舐めたら
私、その気になってしまいますわ♡

でも、せっかくのご褒美ですものね。
マゾペットさんの望んだ生エッチですものね

ほあら、もっと私のマン肉を舌で愛撫なさい♡
このままっ♡　じゃ、ただの膣コキで終わってしまいますわよ。
んっ……折角、御褒美でおまんこに射精できるんですもの♡
種付けを、独りよがりな相互オナニーでおわらせないために♡
もっと、愛し合いましょう♡

大丈夫、私よく理解していますのよ♡
あなたは出来る子……♡

ほら、ここがあなたの事を気持ちよくしてくれる、正真正銘、おちんぼのために女の子に
ついていいるエッチな穴ですわよ……♡

あなたのおチンポを、ここにずぶずぶうって突き入れたら♡
他の事なんてどうでもよくなる幸せを感じられますわよ♡
そして、にゅこにゅこって腰を振って——
最後には、腰と腰を擦り合わせながら種付け♡

女の子に自分の遺伝子を刻み込めるチャンスがやってきますのよ♡
んっ……いいですわ。私、もうその気になってしまいましたの

あなたも準備は——いいようですわね♡

あなたのペットちゃんぽ、飼い主に甘やかしてもらえるように
勃起、できているみたいですよ♡

私のおまんこで、甘やかされる準備は万端かしら？

それじゃあマゾペットさん。

ペットになった記念の御褒美エッチ♡

はじめなさい……♡

はあい……にゅぷにゅぷ……ぷぷ……♡

んっ♡ ずるるるるるっ♡ はあ……♡

ペットちゃんぽ……♡

危険日のおまんこに、生でいられちゃったあ……♡

おっ♡ ほらあ、あとはもう、好き勝手に腰を振ってえ♡

御褒美の膣コキで気持ちよくなってるよ♡

チンポが気持ちよくなるように♡ おまんこっ使って♡

ぬっぶぬっぶ、粘膜擦りつけてっ♡

ご主人様のママ肉で、思う存分、甘やかされましょうね♡

んおっ♡ おっ♡ 必死に腰を振って——偉いっ♡ えらあい♡

素直に気持ちよくなれてっ♡ えらあいですわ……♡

んふふっ♡ アへ顔で腰振って、感じちゃって——♡

幸せ♡ 幸せですわね♡

難しいことなんて、おまんこエッチすれば、忘れられますわよね♡

さ、ペットさん。気持ちよくなったら、遠慮なく♡

私のメス穴の一番奥、子宮めがけて気持ちいいお漏らしザーメン。

びゅっ、びゅっ、びゅるるっ、どびゅーっって

想いっきり、コキ出して構いませんわよ。

可愛いあなたのマゾミルク♡

飼い主として、きちんと受け止めて差し上げますからね♡

んっ♡ いいですわ……♡

無責任に種付け射精♡ 未成年に生中だし♡

ご主人様のおまんこ、ペットチンポでぬこぬこコスって♡
金玉からザーメン、どろっどろってびゅーびゅーしましょ♡

ほら、出して♡ 出して♡ あなたが気持ちよくなれるように♡
目一杯膣コキ♡ 頑張りなさい♡ 腰を振りなさい♡
メスの粘膜に♡ 人生で最高の射精をたたきつけなさい♡
あなたの金玉の、今日初めての濃厚ザーメン♡
私の卵子に、ぶちまけなさい♡

ほら、出しなさい♡ 出しなさい——♡

だせ、だーせ♡ ペットちゃんぽからザーメンだして♡

オスとして生まれてきた幸せ♡

ご主人様の中で感じなさい♡

さ、びゅっ……びゅっ……♡

んっ♡ おっ♡ おっ♡ いいですわね……♡

でてるう……♡ びゅびゅっ♡ ぴゅっ びゅびゅっ♡

とくとくっ♡ とくりっ♡ とくっ♡ とくん♡

って……♡ 中だし、しちゃいましたわね♡

ちゅっ……♡

ペットになるって——幸せでしょう♡

こんなにたくさんザーメン出せてえらいですわ、

私、妊娠しちゃうかも……あなたのおちんぽ、きちんと男の子になりましたわね

んふふ……どうしましたの？

まだ満足……できないのかしら♡ それとも、もっとこうしていたい？

くす……勿論、いいですわよ。マゾペットさん♡

金玉から一滴残らずザーメンが出たような心地の顔をしていますけれど♡

まだ……だし足りないんですね♡
いいですよ。そのまま私の生マンコにちんぽを入れたまま——
こうやって

私の上になってえ——♡
ふふ……あなたを押し倒したまま、抱き合ったまま♡
おちんぽ、いじめてあげますわね♡

ちゅっ……何をするって♡
それは、もう、いわなくても♡ わかっていただけ♡ かしらっ♡
こうやって♡ あなたのおちんぽ♡ 抜けないように腰を絡めて♡

はあ……♡ あなたの身体を気持ちよく、気持ちよくしてあげますわ♡
さ、ご主人様の中にかっこよく種付けできた御褒美に……♡

♡
耳、舐められながらの騎乗位マゾいじめで——チンポから残った精液、トロ出ししなさい

さ、マゾペット出しなさい♡ だせ♡ だせ♡
ご主人様の穴に潮吹きながら、ザーメンだせ♡ 亀頭コキされながらっ♡
敗北ザーメン♡ びゅっびゅっしてろ……♡

ほら、マゾペット——射精の時間ですよ
3、2、1で出しなさい。

3……2……1……

ゼロ、ゼロ……うふふ、ぜえろ♡

んふふ、マゾペットさん。
精も魂も吐き出したって顔、してますわね。
そのまま、今日はおやすみなさい。
そして、毎日のエッチの事だけ、考え続けなさい。

もうこれからは、外のことは、何もかも忘れて構いませんのよ……♡
だって、あなたはもう、ペットなんですよ♡

5. 今日もあなたをペットとして、たくさん可愛がって差し上げますわ

もし……もし……？

私が学校に行っている間、一日中ただらと寝続けているなんて羨ましいペットですわね♥

大人しく待っていたのは偉いのですけれど

飼い主が家に帰ってきたら

一目散に駆け寄るのもペットの仕事ではないかしら？

くす……もちろん、冗談ですわよ。

ずっとまっついていて、えらいえらい♥

私のいないあいだ、一人で寂しかったでしょう？

オナニーもせずに待っているなんて、殊勝なペットですわ♥

ペットちゃんぽ、我慢できなくて限界まで勃起してますわね♥

あなた、私の事が本当に好きなんですのね♥

そうやって四六時中発情して♥

御褒美を求める姿、本当に可愛いですわ♥

だって、そんな変態マゾペットになるように躰けたのはあ♥

私、ですものね♥

くす、ですから安心してください。

今日もあなたをペットとして、たくさん可愛がって差し上げますわ……♥

さ、首輪をつけてズボンを脱いで、此方にお尻を向けなさい。

それができたら、今日も御褒美を差し上げますわ。

ご主人様の言ったこと、きちんと守れて本当に偉いペットですわ。

射精したがり、種付け中毒の勃起おちゃんぽも♥

マゾらしく腫れぼったくなって、私に快楽を与えてほしいアナルも♥

私の手で、遠慮なく、躰けて差し上げますからね♥

くす、じゃあ今日は……♥

最近発情期が酷くなってきたあなたに「待て」の気持ちよさを教えてあげましょうか♥

あなたも、ご主人様のお願いを聞いて、ちゃんと「待て」ができますわよね？
大丈夫、ちゃんと私の言うことを聞けたなら

御褒美、あなたの体に与えてあげますわ……♡

くす、でもまず先に舐からですわね♡

さ、今日使う玩具にローションを塗っていきますわよ♡

変態のあなたは、これだけで何をされるのか分かってしまうのかしら♡

くす、マゾペットさんが今日遊ぶのは……

たっぷりのローションでぬるぬるになった、玩具まんことお♡

マゾケツの入り口を広げて潰す、特大アナルパールですよ……♡

あなたはご主人様が、やりやすいように

四つん這いで腰だけ上げていればいいですわ。

今日はこの玩具で今からペットチンポとケツマンコで遊んであげますから♡

あなたは私がいいと言うまで『射精を我慢』しなさい……♡

それじゃあ、初め……♡

あはあ……♡ あなたのマゾチンポ……♡

牛のミルクグミみたいに、ぐぶぐぶとエロ襷で擦られて……早速感じてる。

こうやって、早く動かして差し上げるだけで、びくびくと痙攣して

節操のない、ミルクサーバーですわね。

蛇口が壊れた水道のように我慢汁をこぼして……くす、駄目ですわよ♡

チンポ肉の気持ちよさをケツ穴を絞めて我慢しないといけませんわよ♡

くす……どうしましたの？

ご主人様のいうことが聞けませんか？

それとも、ケツを絞める度にマゾアナルで銜え込んでる玩具が動いて

内蔵を押しつぶす快樂が頭をどうにかしちやいますか？

くす……あなたの恥ずかしいケツマンコ。

大玉の丸い珠をぷりぷりと飲み込んでいくなんて……まるで豚さんみたい。

くす、一気に取り出すべきかしら、でもそれじゃ——我慢できませんものね♡

精々、このままでマゾ快樂に苦しむくらいにしておきなさい♡

んふふ、どうしましたの？

もう我慢できませんか？ ケツマンコをパールでこじ開けられて

チンポを玩具でコキ抜かれて 金玉からザーメンせり上がってしまいましたか

大丈夫ですわ、このオナホール 透明じゃないやつですから

我慢できずにびゅるびゅる、ぶびゅーって

金玉からザーメンでてきても、あなたが動じなければバレやしませんわ

それよりも、こっち——あなたのケツマンコ。

ほら、アナルパールが全部入って——ここから少しづつ

すこしずつ、抜いていかないといけませんわね。

くす……ぼこぼこと大きな球が出ていくとき

開発され切ったケツ穴が疼いてしまうのかしら

それとも、早くぶつといチンポで貫かれて、敏感な粘膜かき回してほしいって——

おねだり、しちゃっているのかしら

でも、だあめ……

待て、我慢、射精もアクメも——我慢

我慢しながら、腰の奥と金玉でぐつぐつって、マゾ快楽を貯めなさい。

ご主人様の言葉に従って、ペットとして少しでも多くの快感を感じなさい

あはっ、あなたのマゾチンポ

もう限界みたいですわね

金玉がせりあがって、びくびくしてきましたわ

このままじゃびゅくびゅくびゅく……と、ザーメン吐き出してマゾ絶頂

ご主人様に許可されていないのに、イッてしまいますわね。

でも、気持ちいいでしょう 苦しい 気持ちいい この快感、もっと味わいたい

我慢できない 頭がぐるぐるして めちゃくちゃにされ、何も考えられない

ねえ、あなたは後どれだけ我慢できるかしら

随分我慢させましたけれど、あとどれだけ射精を禁止しようかしら

5分——10分——それとも1時間とかw

もお、そんな非道なこと私、致しませんわ。

たったの10カウント。

カウント0になったら、アナルポールを引き抜いて差し上げますから。

存分に、イキ散らさない♡

10、それまでは我慢

9、まだ我慢

8、私の声に集中

7、御褒美はもうすぐ

6、だから集中、気持ちよさを受け入れて

5、4、3、2、1、マゾペットさん、アクメしなさい。

はあい、お尻の穴ばかりあけながら

濃厚ザーメン、コキ出してもらえて善かったですわね♡

それに私の言うこと、ちゃんとまもれてえらい——えらい♡

それじゃあ、射精を我慢することが出来た御褒美に……♡

あなたのお尻の穴、オナホとして使って差し上げますから——

気持ちよかったら存分にあんあんって、啼いて、私を楽しませてくださいね。

さ、ペットのマゾケツマンコをご主人様が征服してしまいますわよ。

ちゃんと、穴に全身系を集中させなさい……マゾペットさん、啼きなさい♡

はい、あん、あん……♡

んふふっ……♡ 沢山犯されたおかげで、お尻の穴。

すっかり、快感を味わうための種壺穴になっちゃいましたね。

マゾペットさん、嬉しいですね♡

うんちの穴、排せつ用の穴がマンコになって嬉しいですね♡

チンポを銜え込んで、アへ顔快樂で脳を破壊されて♡

男としての人生捨てて、ペットになってよかったですわね♡

んっ、ケツマンコっ♡ 犯されるたびに情けなく喘いでっ♡

お尻の肉盛り上げながら、チンポにご主人様大好きってキスしてくるっ♡

乳首も、こんなに膨れて♡ 快感感じるために特化したえっろい身体になっちゃって♡

マゾペットさんの体、もうここまで来たら人には戻れませんわね。

ほおら……あなたの手足はそのまま

司がローション付けた手で乳首とかチンポとか弄ってあげるから♥

それで感じたなら、また啼きなさい。

返事は？ はい、あん、あん。

はあい……よくできました。

ペットさん。えらあい……♥ えらあい……♥

御褒美に、司のチンポでえ——あなたの直腸まで撫でてあげますね。

オスの子宮、捏ね潰して快感を感じられて、嬉しいでしょう？

嬉しいですわよね。

ご主人様に何もかも差し出して快楽を得られるために人生重ねてくれて
ご主人様とそこご家族の方には、本当に、感謝の言葉ありませんわ♥

んっ♥

私がいれば、もうそれでいいって ケツ穴の痙攣で質問に答えるとか、ホントに——
初めて会った時から、こうしたいと思ってた……♥

あなたは、理想のペットですね……♥

いいですよ。 ケツ穴で感じなさい。

ご主人様のこと第一に考えて、どうすれば喜んでもらえるか♥
本能で♥ 御奉仕しましょうね——♥

あんっ♥ そうそうっ♥

ケツ穴締ってチンポに甘えるの上手——♥

チンポのお嫁さんになるの上手——♥

快感に貪欲な欲しがりペットになるお上手うっ——♥

はあ……♥ 絶対に離しませんわ♥

これから、一生——あなたの事、愛してあげますからねっ♥

おうっ♥ だからっ♥ もっとオスマンコでっ♥

私のチンポにつラブコールしなさい……♥

いひっ♥ ひっ♥ おっ♥ おっ♥ おっ♥ お“っ♥

んっ♥ 金玉からチンポ汁上がってくるう……♥ ほらっ♥

啼け、啼け、啼け♥ もっとケツ穴すぼめてザーメン吸い上げろ♥

人生捨てた分だけ、直腸でザーメン飲んで、快楽に溺れろっ♡

あなたには、もお、私しかないの♡

ほら、私のチンポとザーメンだけあればいいって言えっ♡

一生マゾ穴奴隷になるって、変態アナルで答えなさい♡

んっ♡ おっ♡ マゾペットさん♡ 大胆あん♡

ケツの痙攣♡ どんどん早くなつて、メスイキしてるう♡

ああ……♡ えらい、い……っ♡

ペットのケツ穴に媚びられて、ザーメンでるっ♡

マゾペットさあん……ご主人様のザーメンを受け取って、もっともっとな落ちろっ……♡

あっ、あっ、すきっ、しゅきっ、しゅきっ、しゅきい……♡

あ♡っ♡ あっ♡♡ あ♡♡ イグっ♡♡ あ♡♡ イグっ♡♡ あ……♡♡ イグう……っ



いっグ……♡♡ いぐう……うう、う、うイグう……♡♡♡

はあ……っ♡♡ はーっ♡♡ はー♡♡ はー♡

マゾペットさん……♡

ちゃんと最後まで、イキ狂えて偉いですわねえ……♡

私、感心しましたわあ♡

くす……♡

ねえ——あなた、もしかしてもう満足しきったなんて、言いませんわよね？

私——まだ、満足してませんわよ♡

これからずっと、媚びて甘えて、奉仕しなさい……マゾペットさん